

2012年7月6日

第29回 関東産業衛生技術部会・研修会のご案内

関東産業衛生技術部会会長 田中茂
(十文字学園女子大学大学院人間生活学研究科)

化学物質の危険・有害性の事業所内表示について

化学物質はいろいろな事業場で利用されていますが、化学物質の危険性や有害性を知らずに作業を行っていたために発生する爆発、火災、中毒等の労働災害は後を絶ちません。こういった労働災害を防止するために、事業者や労働者に対して必要な情報を提供することなどを定めた「化学物質等の危険性又は有害性等の表示又は通知等の促進に関する指針」が4月に施行されました。この通達では対象となる化学物質の範囲が明確に示されたり、化学物質を利用する事業者に対して、事業場内で化学物質を利用する際に、小分け容器などに対して化学物質の危険・有害性の表示を求めるなどの対策を求めています。

今回の研修会では、本指針のねらいや具体的な事業場内での表示などについて厚生労働省で担当されている増岡専門官、産業保健の立場から長年携わられている城内先生、そして事業者の立場で既に表示を行われている国内の事例を渡邊様、海外の事例を神津様にご講演をお願いいたしました。有効かつ効果的な化学物質の危険・有害性に関する情報の伝達について、議論を行いたいと考えております。

学会員以外の方でも参加できます。多くの方のご参加を期待しております。

- 日時:2012年9月10日(月) 13:00から17:00 (12時より受付開始)
- 場所:慶應義塾大学医学部 予防校舎 3階 講堂 (地図、参照)
..... 〒160-8582 東京都新宿区信濃町35
- 参加費:1000円(資料代として)
- 参加申し込み:(準備のため、参加希望者は前もってご連絡頂ければ幸いです。)
連絡先:田中茂(stanaka@jumonji-u.ac.jp TEL 090-2460-4279)

●研修プログラム

司会:武田 繁夫(中央労働災害防止協会技術支援部)

- ・13:00~14:00 行政の立場から
増岡 宗一郎 (厚生労働省労働基準局安全衛生部化学物質対策課専門官)
- ・14:00~15:30 産業保健の立場から
城内 博 (日本大学大学院理工学研究科医療福祉工学専攻)
- ・休憩
- ・15:40~16:50 事業場の立場から
(1)渡邊 和則 (JALエンジニアリング 安全衛生部)
(2)神津 進 (HOYAグループ OSH 推進室環境・安全衛生グループ)
- ・16:50~17:00 質疑応答

以上

慶應義塾大学

〒160-8582 東京都新宿区信濃町35

(当日の緊急の連絡先：田中茂の携帯09024604279)

